

プリント図案を描く

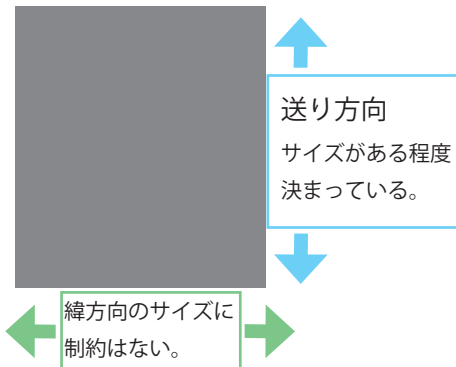
レイアウトと送り

プリント図案を作成する場合は送りサイズを考慮して作成しなくてはならない。

送りサイズは工場、プリントの機種によって様々であるが

一般的にサイズはインチで考える。また、送り方向は縦方向として、

緯方向は基本的にサイズは自由で良い。



必ずとは言えないが送り方向のサイズは、スクリーンプリントで 24 インチの機種や 25 インチの機種が多い。

マシン、ロータリーの場合 15 インチ等、、、一般的に最も使用されているのはスクリーンプリントである。

また、インクジェットプリントの場合はサイズに制約が無いのでどのような大ききで作っても問題ない。

他にも海外の捺染工場等の場合はサイズに制約がない場合も多々ある。

柄を作成して実際に工場に依頼する際には予めどのようなサイズで作るべきか、相談しておいた方がよい。

例えば送り方向のサイズが最大で 24 インチの場合は 24 インチの約数で柄を作成する

作成できるサイズは 24 インチ、12 インチ、8 インチ、6、4、3、2、1 インチ、となる。

因みにインチ=2.54 cm である。



図案の用紙を作成するには長方形ツールを選択して

画面の何処でも良いの一度クリックすると

長方形作成のウィンドウが出るので

ここに直接 **〇〇inch** と入力する。

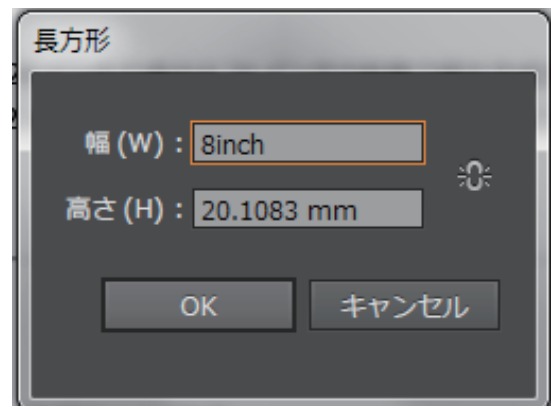
例えば 8inch と入力すれば、

次に高さの方にマウスを充てると自動的に

203.2mm と表示が切り替わる。

最も幅は何センチでも良いので、

この場合先に高さを **〇〇inch** と入力するべきである。



先程述べた方法でモチーフは全て単独で描く

それぞれを単独で描くことによりレイアウトの自由度が高くなる。

また、モチーフはどの程度の種類を描けば良いかと言うと

なるべく同じものが隣り合うように配置したくないので

そういった意味では最低 5 パターンくらいはあった方がよい。



用紙を用意したらその上にモチーフを並べていく。

この時赤線で記した場所にはモチーフは配置しない

また一方はベースの四角形から必ずはみ出すように

配置していく。

このはみ出しが柄を自然に繋げる為の最大のコツである。